■ わたしたちの近況報告、そして感謝とお願い ■

まきびと

2024年 クリスマス号

社会福祉法人 牧人会

961－8061福島県西白河郡西郷村 小田倉字上上野原 158番地1

TEL 0248-25-2046
FAX 0248-25-3776
振替口座 02160-6-244

クリスマスを迎えるとき、当会の事業活動をご支援ください。

牧人会役員・職員合同クリスマス礼拝　祈りから召命、献身から行動へ

地域社会の多様な福祉ニーズに応えて働く、当会の2024年度事業活動にご理解とご支援をお願いします。

理事長 山下勝弘

クリスマスの挨拶と共に、当会の今年度の事業計画と活動を報告いたします。

当会は現在、主に知的障がいのある幼児から高齢者までを対象に15種別65事業の福祉支援活動を、福島県、山形県、宮城県3県内の11市町村で実施しています。

2024年度も、2023年度の事業活動結果を継承し、地域社会に貢献できる福祉サービス提供を可能にする以下の活動と事業計画を推進、実施しています。

1、求められる福祉支援サービスの確実な提供と充実

当会の相談支援サービス利用者を除く直接福祉サービス受益利用者数は、児童と成人合計で620名になります。

現在も新型コロナ、インフルエンザ、その他多様な感染症禍社会環境下で感染対策を最重視しながら、それぞれの福祉現場で利用者はじめ地域社会で求められている福祉支援サービス提供と充実を目標に、役職員全員が誠実に働きに参加しています。

2、自己実現を支援する相談支援事業の強化と推進

昨年度は地域社会から強い要望のある「児童発達支援センター」を福島県東白川郡塙町に開設し、地域の中核専門施設として活動しています。

今年度は、援助を必要とする人たちが望んでいる自己実現を可能にする相談支援事業を設置している「相談支援センター」を中核に強化し推進しています。

3. 福祉現場就労支援セミナーを実施し人材育成活動を具体的に推進

超高齢化社会を迎えている我が国では、福祉サービス領域に就労する人材の確保が緊急の課題になっています。特に障害福祉領域ではその状況が顕著になっています。

当会では、この課題解決をキリスト教会との連携協力関係によって現実化することを願い、「福祉現場就労支援セミナー」を実施し、具体的な活動を開始します。キリスト教会関係者のご理解とご協力ご支援をお願いします。

クリスマスを迎えるとき、当会の今年度活動と事業実施に、ご理解とご支援を、心からお願いいたします。

国内の感染症禍、国外の戦乱に心を痛める渦中で2024年のクリスマス、また2025年を迎える時、心からの感謝をこめて当会の活動の現状と事業計画の内容を報告し、みなさまに一層のご理解とご支援をお願いいたします。

揺り籠から一生涯を展望して寄り添う相談支援事業

■誰もが自分の希望する生活の実現化を目標に、個別に対応し働く活動■

当会は主に知的障がいのある幼児から高齢者までを対象に幼児療育施設、児童入所施設、成人入所支援施設、通所支援施設、就労支援施設、グループホーム等の福祉施設を運営していますが、同時に福島県、山形県内6地域で相談支援事業所を開設しています。

相談支援活動は乳幼児から開始され支援の対象とした利用者の幼児期、児童期、成人期、高齢期までの一生涯を展望しながら、現在の望ましい生活形成を可能にする支援計画の作成と必要な助言と具体的な直接的相談支援を提供しています。

支援対象領域は支援者の直接的生活福祉に限らず関連する教育、医療、司法を含む総合的課題への対応が求められ、当会ではこの業務を統括するセンターを設置して年間全体で一万件を超える相談業務に対応しています。

感染予防対応訓練を繰り返す職員

依然と続く感染症禍環境
防災安全対策も強化充実へ

新型コロナ感染が第5類に移行した以降も、社会福祉サービス活動は多様な感染症感染の深刻な影響を受けています。

当会でも今年度になって、児童入所施設及び成人入所支援施設でクラスターが発生し、幼児療育サービス事業所も日常的に感染症の影響を深刻に受けています。現在でも職員は感染症予防対策に最大限の努力をし、感染予防対策を着実に実施し、必要な訓練を実践しています。

また感染症禍生活環境のなかで豊かな生活内容を提供する努力をすると共に、この環境に対応した新しい生活様式や生活内容を検証して、一般社会の生活と格差のない充実した豊かな生活づくりに努力をしてきました。

さらの今年度は防災安全対策を強化して、施設所在地のハザードマップに対応した訓練の実施や、設備の整備をはかり、「命を護り、生活を育て、共に生きる」共生共同体形成を目標に福祉現場の働きに参加しています。

法人内部研修。オンライン方式でも実施

専門性の確立へ職員研修を強化
就労支援セミナーも開催

当会の運営する福祉施設等の福祉現場は3県11市町村に広域型形態で展開されています。各福祉現場に働く職員には福祉に関する専門性と、働く地域社会への理解と、そこに存在する課題に適切に対応する姿勢が求められています。

福祉現場への就労者の減少が深刻な現状で、福祉サービスの維持充実を確保するために、当会では職員個人の専門性を高め提供する福祉支援を強化する現任研修を強化しています。

また、地域ごとに60歳定年退職者、中高年離職者等を対象に、福祉現場への就労を支援するセミナーを準備して、福祉現場の就労者の確保と、地域社会密着共生型福祉事業展開を推進しています。

教会で、家庭で、幼稚園・保育園で
当会の木工授産製品を、ご利用ください

当会の関係福祉施設のユニークな製品に、木工製品があります。これらの製品は、仙台市にある日本キリスト教団東北教区センター「エマオ」でも、常設展示されています。

木工製品は、各種「十字架」を始めとするキリスト教会用家具、用品、高品質の各種積木、木製玩具その他木馬、幼児用机・椅子、福祉施設用家具などが中心です。

詳細は当会のホーム・ページをご参照くださって、ぜひご用命、ご利用ください。

写真左上 「十字架」。 **写真上** 幼児用テーブル・椅子。

各種保育園・幼稚園児用テーブル・椅子等の受注製作のほか、各種「木製積木」「木製玩具」「地図パズル」「木製ネームカード」、その他「エプロン」等の多くの縫製製品も製作。

牧人会後援会にご参加ください
感謝と報告
後援会会長 定家 修身

牧人会後援会は1971(昭和46)年に社会福祉法人牧人会設立とともに正式に活動を開始し、社会福祉法人牧人会の強力な協力支援団体として、現在にいたっています。

その主要な支援活動の目的と内容は、社会福祉法人牧人会に連帯し、理解し、協力するとともに、これを財政的に支援することです。

2023年度に牧人会後援会へ納入された会員の会費総額は、3,983,745円で、これは個人会員と団体会員をあわせて440会員のみなさまが協力してくださった結果です。この納入された会費から、3,500,000円を2023年度の助成金として、社会福祉法人牧人会へ捧げました。

2023年度では各種感染症禍環境に必要な社会福祉法人牧人会全体の感染症対策費、関連する各福祉施設事業所のIT各種設備更新強化、各福祉現場の建物設備整備事業を中心に支援しました。

2024年度も、引き続きみなさまのご理解、ご加祷と共に、後援会活動へのご参加とご支援を、心からお願いいたします。 (協賛広告)

白河めぐみ学園 Tel 0248-25-2046
白河こひつじ学園 Tel 0248-25-2055
あだたら育成園 Tel 0243-48-3111
須賀川共労育成園 Tel 0248-76-4155
あだち共労育成園 Tel 0243-48-3113
はなわ育成園 Tel 0247-43-3891
山形ひかり学園 Tel 023-672-2377
寒河江共労育成園 Tel 0237-86-7625
山形育成園 Tel 023-673-2575
児童発達支援センターまきびと Tel 0248-25-0869
泉崎村障がい者支援センター Tel 0248-53-3618
発達支援センターあだたら Tel 0243-22-2800
相談支援センターこひつじ Tel 0248-21-8648
児童発達支援センターはなわ Tel 0247-57-9601

木工製品のご相談は 須賀川共労育成園 電話 0248－76－4155 あだち共労育成園 電話 0243－48－3113 寒河江共労育成園 電話 0237－86－7625